

施策評価シート

【施策の概要】

		登録者(課長)名【1】	道路建設課長 中野 英道	
		主管課(関係課)【2】	道路建設課(都市計画課、道路管理課)	
施策名【3】		分野【4】	まちづくりの方向性【5】	
安1-2 道路・交通の整備		快適な日常生活のために	安全で快適に暮らすまちづくり	
概要	施策全体の課題【6】		施策実現へむけたキーワード【7】	施策の目標【8】
	安全で快適な日常生活のためには、都市計画道路・生活道路の整備など、道路交通環境の充実が重要であり、住宅開発などの進展にあわせて、計画的に道路ネットワーク形成を図ることが必要です。一方、市民のニーズに応じたはなバスの運行に取り組むとともに、NPOなどの多様な主体と連携し、バリアフリー化など、人にやさしい公共交通及び関連施設の充実を図る必要があります。また、自転車の利用や利用時の安全確保もまちづくりの重要課題であり、対応が求められています。		・都市計画道路・生活道路の整備 ・安全で快適な道路ネットワークの速やかな構築 ・公共交通及び施設のバリアフリー化 ・多様な主体の連携による、さまざまなニーズに応じた公共交通の展開 ・自転車を活用したまちづくりの検討	道路・交通を整備し、市民の日常生活における利便性、安全性の向上をめざします。
	留意すべき点(都などの制度の変化・その他制約条件・社会環境の変化)【9】			
特になし				
事業群名【10】		事業群の施策上の位置づけ【11】		
1	体系的な道路網の整備を進めます	体系的な道路網の整備		
2	体系的な交通網の整備を図ります	コミュニティバスなど体系的な交通網の整備		
3	自転車にやさしいまちづくりに取り組みます	自転車駐車場の整備、自転車を活用した取組		
達成率の平均値				

【施策の成果】

				年度	19	20	21	22	23	24	
成果指標【12】	指標1	名称	市内の都市計画道路整備率	目標値	整備促進			単位	%		
		算出式・説明	体系的な道路網の整備を進めることによって、市民の日常生活における利便性や安全性の向上をめざす必要があります。目標は「計画に基づき整備促進」としてありますが、具体的には計画延長51.63Kmに対する完成延長率とします。								
		実績値	33	33	33						
	達成率	-	-	-	0%						
	指標2	名称	はなバス利用者数	目標値	1,360千人			単位	千人		
		算出式・説明	市民の利便性をさらに向上するために、はなバス運行についてルートなどの見直しを行う必要があります。はなバスの利用者数を計ること、市民が利用しやすい体系的な交通網の整備ができていくか確認することができます。								
		実績値	1294	1320	1307						
	達成率	95%	97%	96%	0%						
	指標3	名称	自転車駐輪場の整備箇所数	目標値	2箇所			単位	箇所		
		算出式・説明	保谷駅南口、西武柳沢駅南口の駅周辺の自転車駐車場の整備によって、自転車を利用する市民がより安全に、快適に生活できる環境づくりに取り組むことが必要です。								
		実績値	0	0	1						
	達成率	0%	0%	50%	0%						
指標4	名称		目標値				単位				
	算出式・説明										
	実績値										
達成率											
達成率の平均値								0%			

【市民意見】【13】

平成19年度		平成22年度	
満足度(%)	27.3%	満足度(%)	25.9%
満足度(平均ポイント)	-0.53	満足度(平均ポイント)	-0.56
重要度(%)	83.7%	重要度(%)	82.3%
重要度(平均ポイント)	1.29	重要度(平均ポイント)	1.3

各年次の市民意識調査で、施策ごとの「満足、やや満足」「重要、やや重要」の合計値として算出しています。

【一次評価】

検証項目	施策の成果と課題	施策成果の目標達成状況【14】	<input checked="" type="checkbox"/> まだ未達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 目標を大きく上回る	
		意識調査での満足度【15】	<input checked="" type="checkbox"/> 平均を下回る <input type="checkbox"/> ほぼ平均 <input type="checkbox"/> 平均を上回る	
検証項目	今後の方針	施策の重要性の変化【17】	<input type="checkbox"/> 弱くなっている <input checked="" type="checkbox"/> 以前と同程度 <input type="checkbox"/> 強くなっている	
		意識調査での重要度【18】	<input type="checkbox"/> 平均を下回る <input type="checkbox"/> ほぼ平均 <input checked="" type="checkbox"/> 平均を上回る	
総合評価	判断理由等【24】	施策内容の方向性【20】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 絞込み	
		施策実施コストの方向性【21】	<input type="checkbox"/> 重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 効率化	
		施策実施方針【22】	V コスト、成果ともに現状を維持すべき施策領域	

【一次評価後の事情変更等】

説明【23】	なし
--------	----

【行革本部評価】

総合評価	判断理由等【24】	施策内容の方向性【20】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 絞込み
		施策実施コストの方向性【21】	<input type="checkbox"/> 重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 効率化
	施策実施方針【22】	V	コスト、成果ともに現状を維持すべき施策領域

道路・交通の整備については、体系的な道路網の整備、体系的な交通網の整備(はなバスの運行)・自転車にやさしいまちづくりの3つの柱で施策を推進してきました。自転車駐車場の整備が順調に進み、はなバスのルート見直しについても一定の成果をあげつつありますが、道路網整備に関しては、用地買収に鋭意取り組んでいるものの道路としての完成には至っていないものがまだ多くある状況です。市民意識調査では、現状への満足度が低く、将来における重要度が高いという結果となっており、各事業の積極的な推進が求められています。しかしながら、市としても、都市計画道路・生活道路の整備を中心として、既にこの施策については重点化していく計画となっていますので、当面は現在の計画ベースを維持し、着実な事業推進を図っていくことが妥当と判断しました。なお、はなバスのルート見直しについては、平成22年度中に行う見直しの実施結果を検証した上で、都市計画道路等の整備の進捗状況も見ながら、中長期的な対応を検討していくとともに、社会経済情勢や市民ニーズ等の変化にも弾力的に対応できるよう努めていきます。

【施策内の事務事業貢献度判定】

安1-2 道路・交通の整備

事業群	名称【25】	担当課【26】	概要【27】	総コスト(千円) ：評価年度【28】		事務事業 の評価 (直近)【29】	26市の サービス 水準との 比較【30】	施策における位置づけ【31】	貢献度 【32】
				事業費	人件費				
1	交差点の見通し改良事業【事前】	道路建設課	見通しの悪い市道の交差点の見通しを良くするために、交差点の隅切り用地の買収及び、交差点部分のブロック塀を撤去してネットフェンスに取替え等の改修を実施します。現在実施に向けた検討を行なっています。	0	0	0	－	－	B
	西東京都市計画道路3・4・24号線（田無駅南口広場）の整備検討【事前】	都市計画課	田無駅南口から西3・4・1号線を南北方向に結ぶネットワークを形成します。交通広場部分のみが第三次事業化計画において優先的な整備路線として位置づけられています。現在、整備を進めている他の路線の進捗状況を見ながら事業実施時期を検討していきます。	2,378	1,974	404	－	－	B
	西東京都市計画道路3・5・10号線	道路建設課	西3・4・20号線と西3・4・25号線とのネットワークを結び、東西方向のアクセスの強化を図ると共に、ひばりが丘駅及び田無駅との連絡を円滑にします。本事業は、第1工区部分とし、都市再生機構（UR）の直接施行。路線延長：750m 道路幅員：12m（第1工区、延長：400m）	145,580	137,500	8,080	事業化 (平成21年度)	－	B
	西東京都市計画道路3・4・11号線	道路建設課	本路線は、現在事業中の西3・2・6（調布保谷線）号線と整備済み区間の西3・4・16号線（かえで通り）との東西方向のネットワークを結び、多摩北部地域と区部とのアクセスの向上を図り、西東京市周辺交通の円滑化を推進します。新みちづくり・まちづくりパートナー事業に位置づけられ、東京都の受託事業となっています。道路延長：770m 道路幅員：16m（電線共同溝路線）	361,110	348,990	12,120	継続実施 (平成21年度)	下	B
	西東京都市計画道路3・4・13号線	道路建設課	本路線は、現在事業中である西3・4・15号線とのネットワークを構築することで、西東京市北部地域の交通の円滑化を図るとともに、区部と多摩地域の交通アクセスを強化する路線として位置づけられています。新みちづくり・まちづくりパートナー事業に位置づけられ、東京都の受託事業となっています。道路延長：300m 道路幅員：16m（電線共同溝路線）	77,939	65,819	12,120	継続実施 (平成21年度)	下	B
	西東京都市計画道路3・4・15号線	道路建設課	現在事業中である西3・4・13号線及び西3・3・14号線とのネットワークを結ぶことで、西東京市北部地域の交通の円滑化を図ると共に、保谷駅北口への直接のアクセスを向上させます。道路延長：597m 道路幅員：16m（電線共同溝路線）新市建設計画事業として、合併特例債を活用しています。	384,155	372,035	12,120	継続実施 (平成21年度)	下	B
	西東京都市計画道路3・4・17号線の整備検討【事前】	道路建設課	東伏見駅南口と西3・3・3号線を結び、東伏見駅南口へのアクセスを向上させます。第三次事業化計画において優先的な整備路線としては位置づけられていません。現在、整備を進めている路線の進捗状況を見ながら事業実施時期を検討していきます。	0	0	0	－	－	B
	市道の新設改良及び拡幅	道路建設課	西東京市道路整備計画に基づき、市民の安全性・利便性・防災面に配慮し、狭隘な道路の新設改良・拡幅その他必要とする道路工事を行います。	251,630	231,026	20,604	継続実施 (平成19年度)	上	B
	向台町三丁目・新町三丁目地区地区計画関連周辺道路整備	道路建設課	旧IHI工場跡地の開発に伴う人口及び交通量の増大が予想され、開発区域内道路にアクセスする周辺道路を整備します。日常的に利用する生活道路として、安全快適な道路空間の確保を目指し、歩行者空間のネットワーク化と車両交通の円滑化を図るため、当該周辺道路の整備を進めます。	251,689	247,649	4,040	継続実施 (平成21年度)	中	B
	踏切道拡幅事業	道路建設課	西東京市道路整備計画の中で、長期的には鉄道立体化による踏切の解消を検討していますが、歩行者の安全確保を目的とした短中期的な対策を実施する必要があるため、西東京市都市計画マスタープランに基づくまちづくりの実現に向けた交通網の整備として、国土交通省の「緊急踏切」並びに東京都で位置付けられた「重点踏切」箇所について、早期の対策効果が得られる改修工事を実施します。	89,640	85,600	4,040	事業化 (平成21年度)	－	B
	ひばりが丘団地建替計画関連周辺道路整備事業	道路建設課	ひばりが丘団地の建替に伴い周辺道路の整備を進めます。主要生活道路としての位置づけがある現道を拡幅し、交通の円滑化及び安全かつ快適な歩行空間の確保を図ります。	11,801	9,377	2,424	－	－	B
	西東京都市計画道路3・4・18号線の整備検討【事前】	道路建設課	西武柳沢駅北口から西3・4・11号線を南北方向に結ぶネットワークを形成します。西武柳沢駅北口から西3・5・4号線（新青梅街道）まで、第三次事業化計画において優先的な整備路線として位置づけられています。現在、整備を進めている他の路線の進捗状況を見ながら事業実施時期を検討していきます。	0	0	0	－	－	B

事業群	名称【25】	担当課【26】	概要【27】	総コスト(千円) ：評価年度【28】		事務事業 の評価 (直近)【29】	26市の サービス 水準との 比較【30】	施策における位置づけ【31】	貢献度 【32】
				事業費	人件費				
				0	0	0	－	－	B
				2,378	1,974	404	－	－	B
				145,580	137,500	8,080	事業化 (平成21年度)	－	B
				361,110	348,990	12,120	継続実施 (平成21年度)	下	B
				77,939	65,819	12,120	継続実施 (平成21年度)	下	B
				384,155	372,035	12,120	継続実施 (平成21年度)	下	B
				0	0	0	－	－	B
				251,630	231,026	20,604	継続実施 (平成19年度)	上	B
				251,689	247,649	4,040	継続実施 (平成21年度)	中	B
				89,640	85,600	4,040	事業化 (平成21年度)	－	B
				11,801	9,377	2,424	－	－	B
				0	0	0	－	－	B

【施策内の事務事業貢献度判定】

安1-2 道路・交通の整備

事業群	名称【25】	担当課【26】	概要【27】
3	保谷駅南口、西武柳沢駅南口自転車駐車場の整備	道路管理課	西東京市内全駅周辺自転車駐車場の整備を進めているなかで、整備が遅れている保谷駅南口の自転車駐車場について整備を行い、周辺の放置自転車対策を進めます。（但し、西武柳沢駅南口自転車駐車場は平成21年度（財）自転車駐車場整備センターにて整備済。）
	自転車を活用したまちづくりについて調査・研究	道路管理課	環境にやさしい自転車利用の利便性向上と促進のため、西武柳沢駅南口自転車駐車場でレンタサイクルの試行を始めます。
事業の合計			

総コスト(千円) : 評価年度【28】	事務事業の 評価(直近)【29】		26市の サービス 水準との 比較【30】	施策における位置づけ【31】	貢献度 【32】	
	事業費	人件費				
116,132	109,668	6,464	抜本的見直し (平成20年度)	上	交通不便地域の解消と公共施設への利便性の向上を図り、市民の交流が促進されます。	A
1,616	0	1,616	事業化 (平成21年度)	－	通勤・通学等の自転車利用者が継続的に安心して西武柳沢駅及び保谷駅を利用することができ、駅前広場等の良好な環境の確保及びその機能の低下の防止を図ることができます。	B
808	0	808	－	－	自転車を利用する市民がより安全で、快適に生活できるようになります。	B
1,694,478	1,609,638	84,840				